

四季の郷定住促進対策は

町長 商業施設の操業への支援を検討



奥山勝吉議員

人口流出を食い止め定住促進のための土地の利用計画は

奥山 寄付を受けた15区画の保留地を若い人たちの定住促進と移住支援策に使う。

町長 15区画を分譲販売をしており、購入支援として「すまいる！四季の郷定住促進プロジェクト事業」で県外者100万円、町外者70万円、町内者50万円を交付する制度がある。

チラシ配布後の問い合わせは

奥山 お盆の頃にチラシが配布になった中で問い合わせが無かった原因を問う。

建設水道課長 山形新聞の折り込みで2万3000枚を配布したが、商業施設やコンビニなど生活の利便性が整っていないことと、若い世代の資金的な部分も原因と考えている。

若者が買いたくなる施策は

奥山 利便性が悪いというところで公設コンビニの設置の考えは。

町長 組合の方にやっていただくのが一番いい方法であったが、今後民間の方が操業する際はどのような支援ができるか検討していく。

床下、床上浸水の原因は

奥山 災害の中で側溝があふれ、床下や床上浸水等になった状況についての考えは。

建設水道課長 床下、床上浸水した所が一番低地であり、降った雨等が集まってくることで、側溝の不適合とゲート操作の遅れなどによるものです。

全体的な原因の再度の調査は

奥山 原因を再度調査して個人対応の復旧工事への指導と地元民への理解は。

副町長 絶えず情報をうけて緊急に対応すべきものは対応していきたい。又自主防災組織と連携して自己防衛を含めた対応に努めている。



側溝があふれ道路が冠水した鮎貝神明町